生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	長方形引き型ダイレーターを使用した膝前十字靱帯再建術の臨床成績		
1.研究の目的と方法	膝前十字靱帯(ACL)再建術において、当科では長方形引き型ダイレーター（RRD）を用いた再建術を主に行なっております。解剖学的位置に長方形の骨孔を作製し骨付き膝蓋腱や骨付き大腿四頭筋腱を用いて健常な膝前十字靱帯の線維配列を模倣して再建することで、従来の術式よりもさらに良好な臨床成績が報告されております。本研究では当科で行なったACL再建術の術後成績をより詳細に調査します。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	対象となる方：膝前十字靱帯損傷の診断で手術的治療を希望した患者さんのうち、附属病院及び葛飾医療センターで2014年4月1日～承認日の間に手術を受けた方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像検査)、アンケート調査結果、診療録データ	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。 過去の先行研究（長方形引き型ダイレーターを使用した膝前十字靱帯再建術の臨床成績の研究）で取得されたデータを二次利用する場合があります。	
5.研究の実施体制	あなたの情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　整形外科学講座
		氏名	林　大輝
	(2)試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(3)共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　整形外科学講座 研究責任者：林　大輝（ハヤシ　ヒロテル） 窓口担当者：同上 電話番号：03-3433-1111（内線 3441） 対応時間：平日 9：00　～　17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。